



「新しいあたりまえ」で、新しい世界を創る

2023年3月期 決算説明会資料

株式
会社 **フォーバル**

(コード番号 8275)

2023.5.25

2023年3月期 連結決算概要

1

売上高は過去最高

2

F-Japan事業が順調に進展

3

新電力サービスの仕入価格高騰に対し、
上期は料金に転嫁できず利益減少要因に

4

最終利益は前期に事業譲渡益を計上した影響を受ける

FORVAL 連結決算概要

| | 2023/3 | | | | 2022/3 | | 2023/3 | |
|-----------------|--------|--------|------------------|------------------|--------|--------|--------|--------|
| | 実績 | 売上比 | 前期比 | 期初予想比 | 実績 | 売上比 | 期初予想 | 売上比 |
| 売上高 | 59,538 | 100.0% | 8,003 【15.5%】 | 5,538 【10.3%】 | 51,535 | 100.0% | 54,000 | 100.0% |
| 売上総利益 | 20,355 | 34.2% | 1,307 【6.9%】 | | 19,047 | 37.0% | | |
| 販管費 | 17,912 | 30.1% | 1,550 【9.5%】 | | 16,361 | 31.7% | | |
| 営業利益 | 2,443 | 4.1% | △242 【△9.0%】 | △356 【△12.7%】 | 2,685 | 5.2% | 2,800 | 5.2% |
| 経常利益 | 2,717 | 4.6% | △137 【△4.8%】 | △282 【△9.4%】 | 2,855 | 5.5% | 3,000 | 5.6% |
| 特別利益 | 255 | 0.4% | △191 【△42.8%】 | | 446 | 0.9% | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,679 | 2.8% | △157 【△8.6%】 | △220 【△11.6%】 | 1,836 | 3.6% | 1,900 | 3.5% |

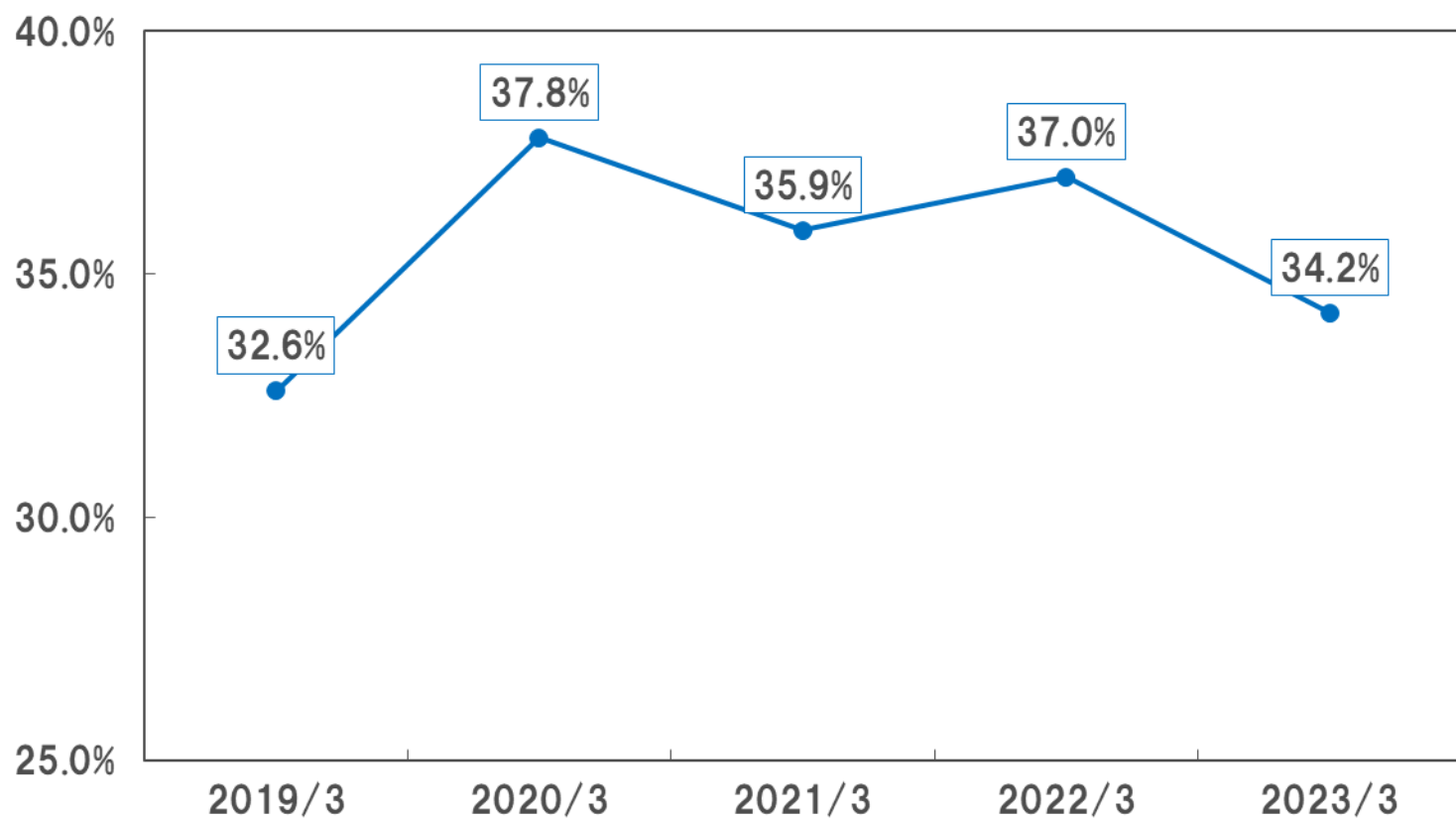
単位:百万円

前期に比べ売上総利益が

| 事業 | 上期 | 下期 | 通期 |
|---------|----------|----------|----------|
| 新電力サービス | 541百万円減少 | 216百万円増加 | 325百万円減少 |

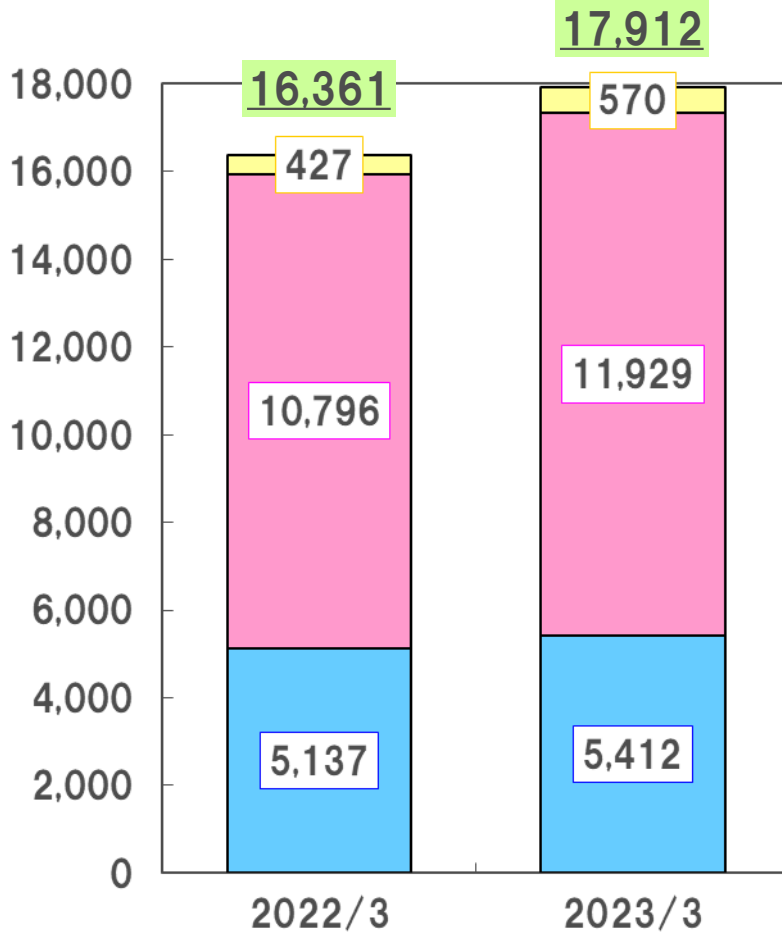
特別利益が前期に比べ191百万円減少

| 2023/3 | 2022/3 |
|------------------------------|--------------------------|
| 255百万円 （投資有価証券売却益 188百万円） | 466百万円 （事業譲渡益 354百万円） |

新電力サービスの仕入価格高騰の影響で前期比2.8ポイント低下

前期比9.5%増

□ 経費 □ 人件費 □ 販売費



販売費

前期比 142【33.2%】

販売奨励費、広告宣伝費等の増加

人件費

前期比 1,132【10.5%】

従業員増、新たな連結子会社等の影響

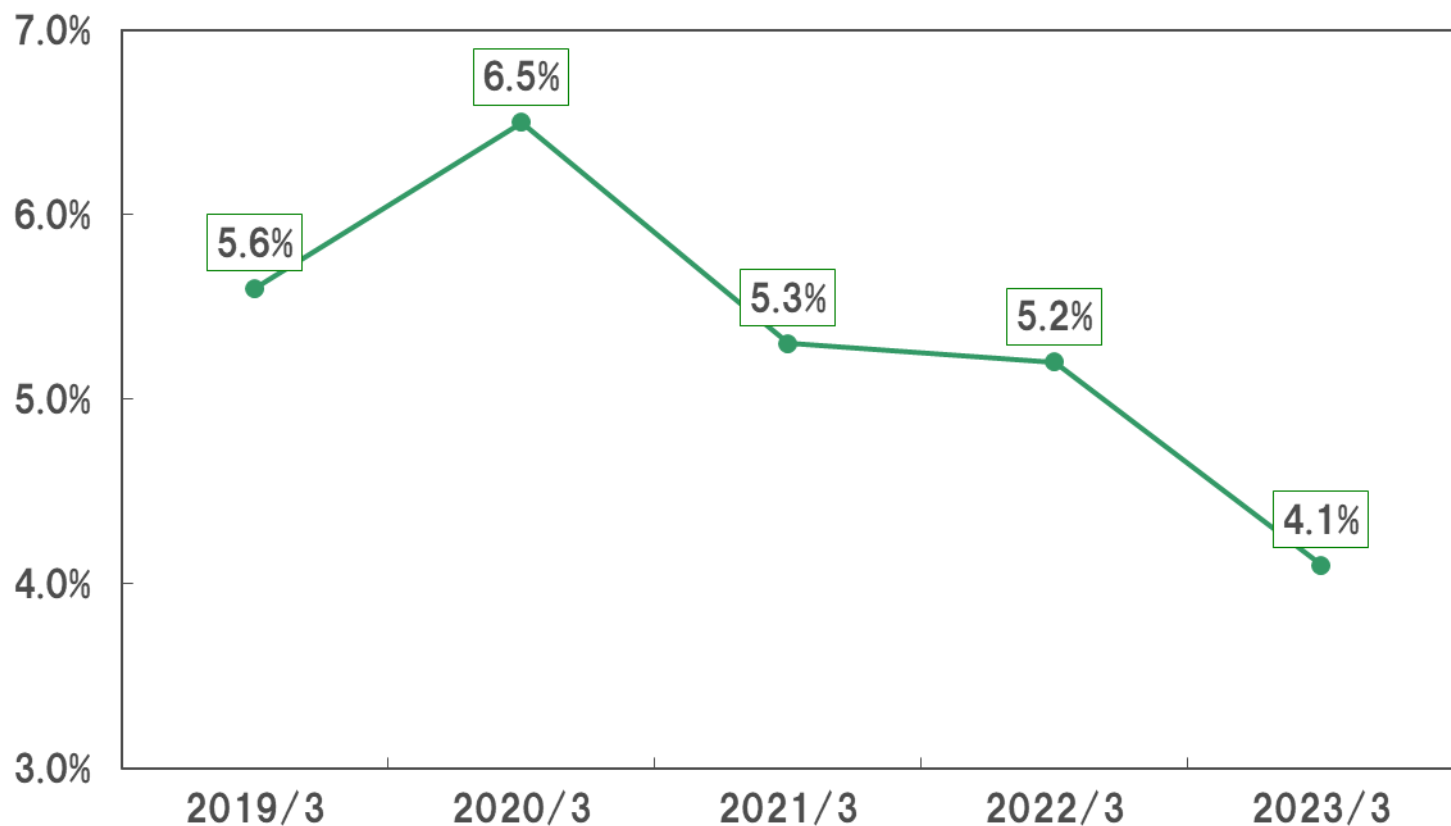
経費

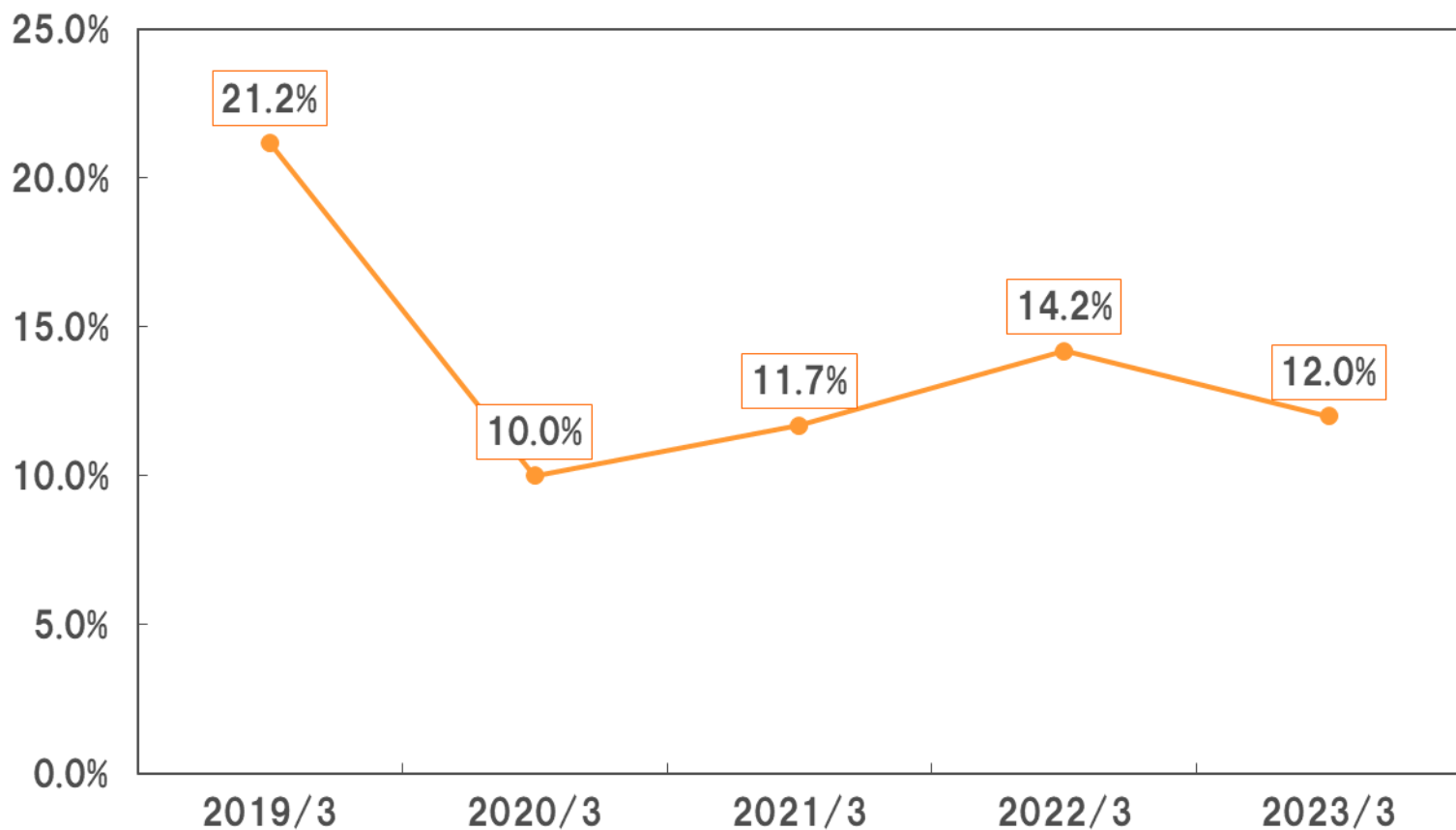
前期比 275【5.4%】

旅費交通費、情報処理費等の増加

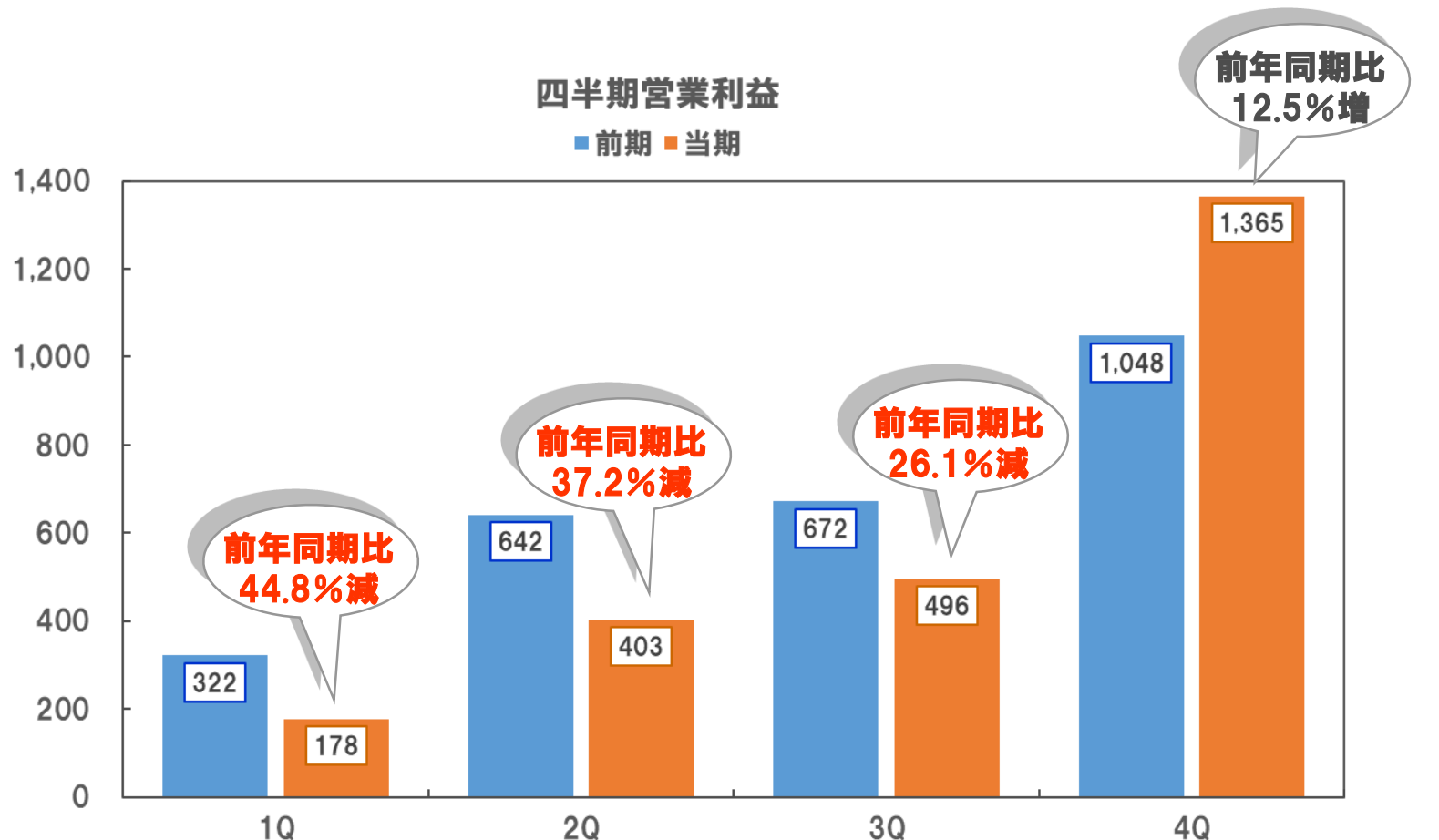
単位：百万円

**新電力サービスの仕入価格高騰および
人員増等による人件費増加により前期比1.1ポイント低下**



前期比2.2ポイント低下

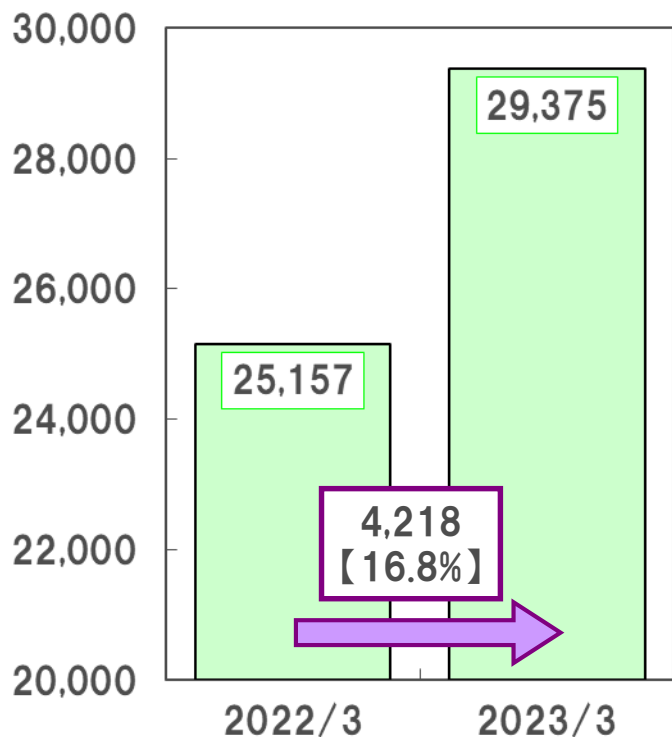
**新電力サービスの仕入価格高騰に対し、上期は
料金に転嫁できずに減益となるも下期以降徐々に正常化！**



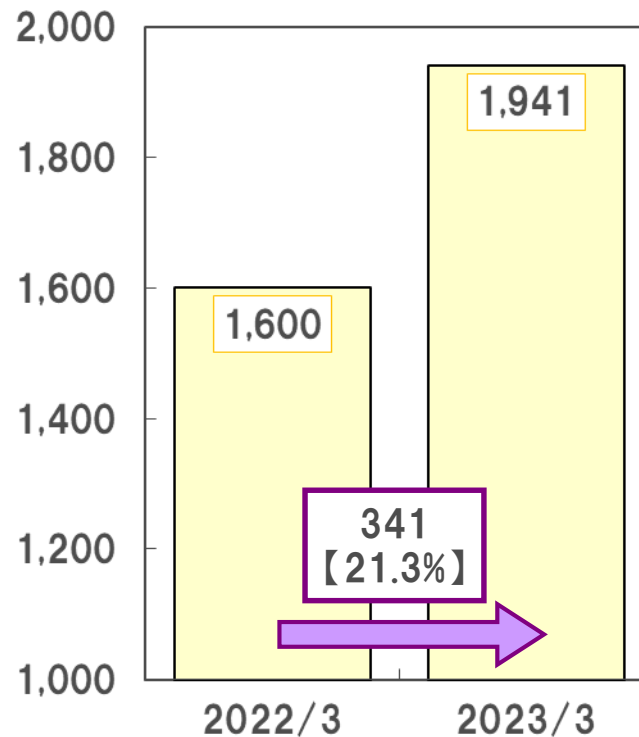
単位:百万円

フォーバルビジネスグループ

売上高



セグメント利益

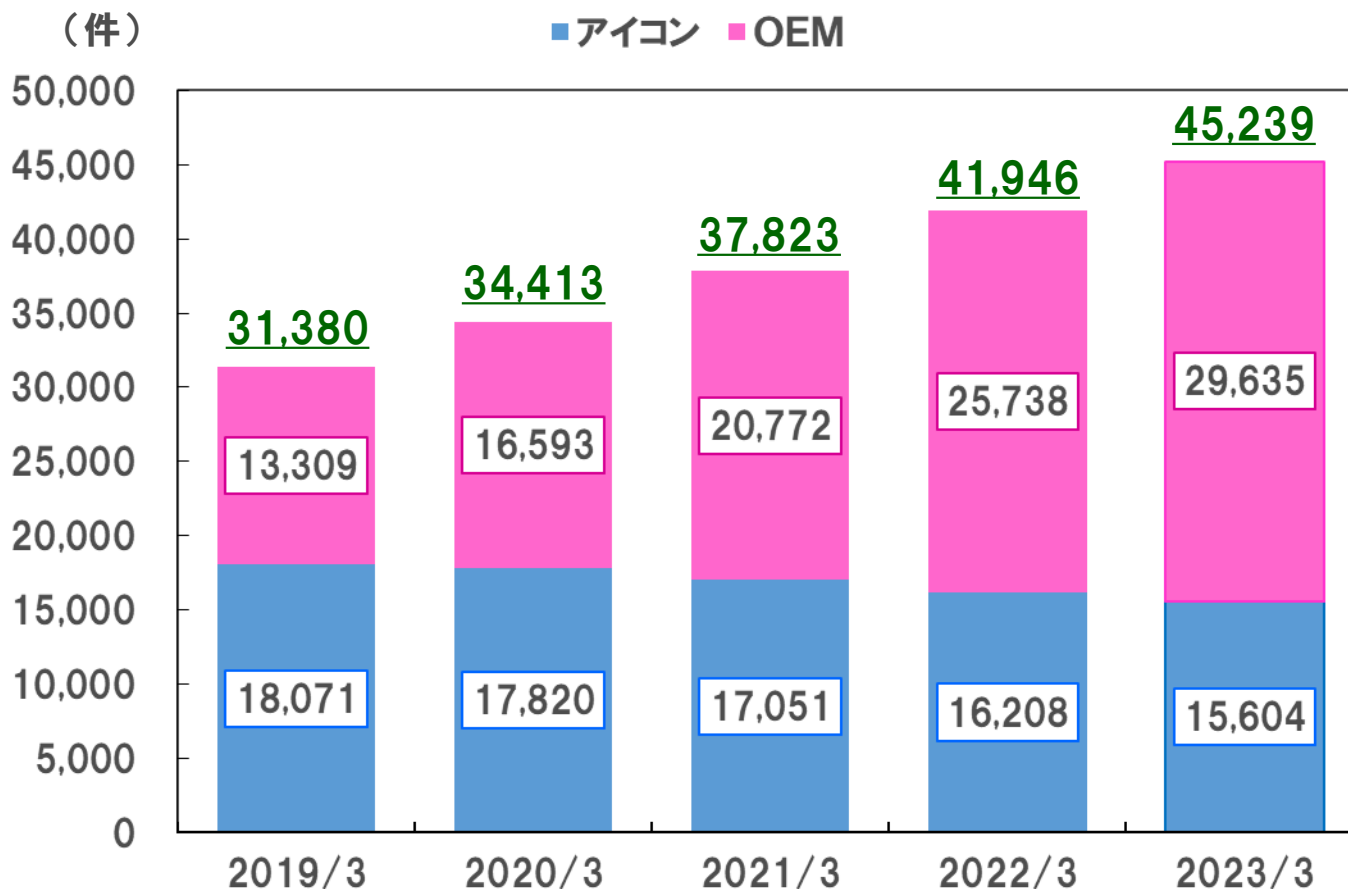


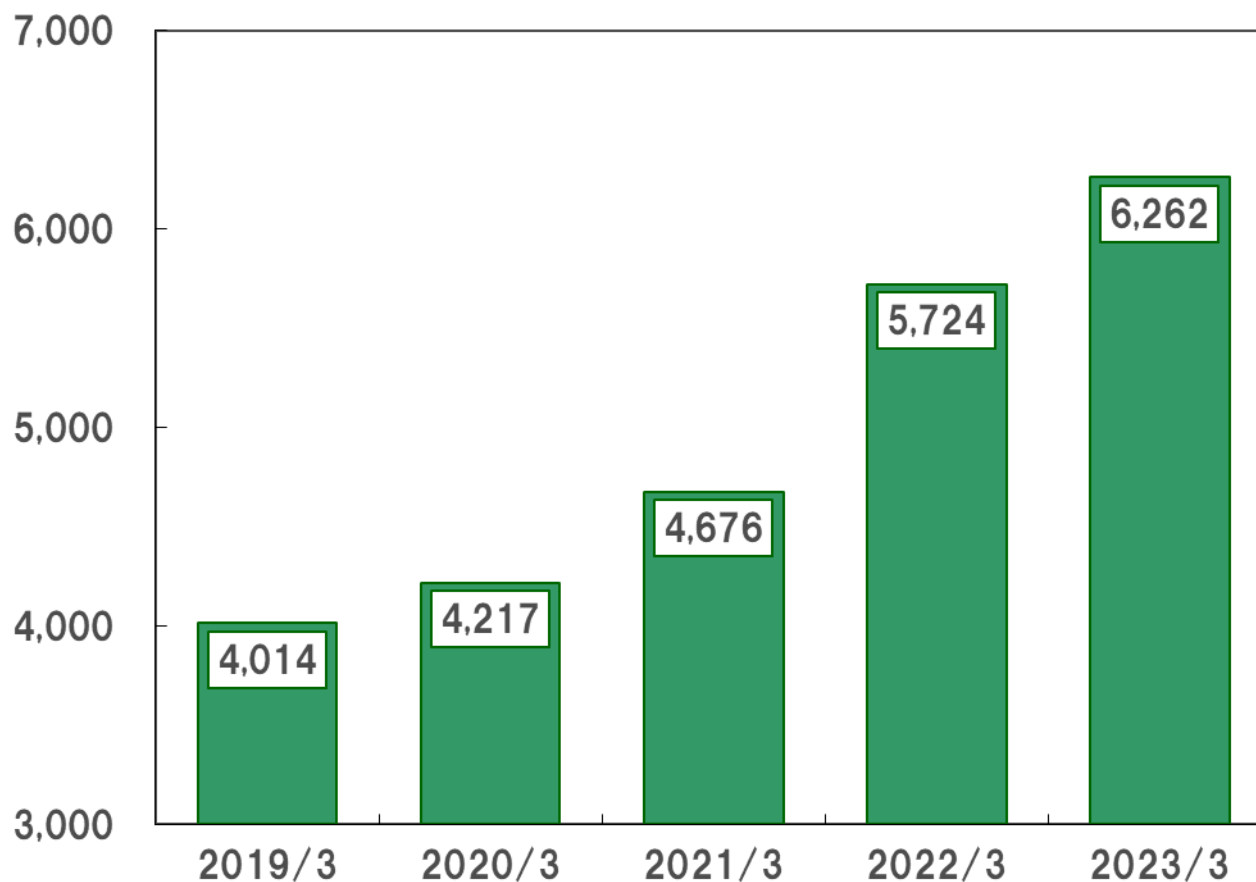
単位: 百万円

F-Japan事業が順調に進展
新たに連結に加わったグループ会社も寄与

OEMが牽引し前期比7.9%増

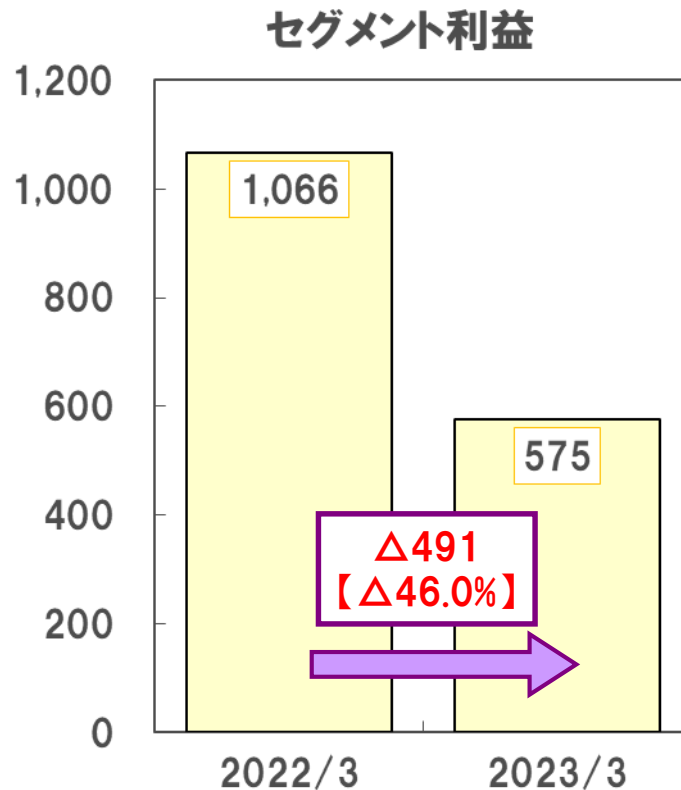
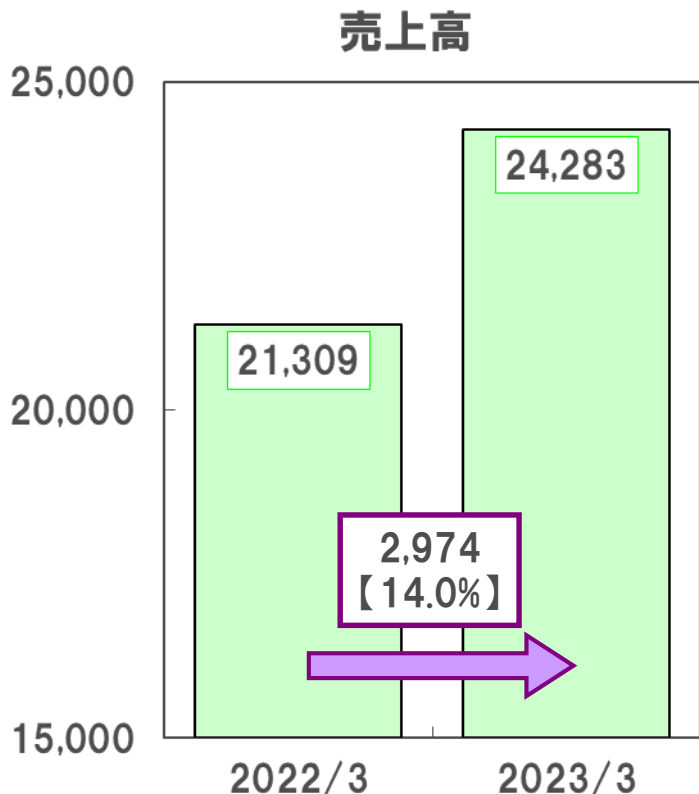
フォーバルは経営環境が厳しいクライアントに対しクオリティ特化



ARPUの上昇により前期比9.4%増と順調に拡大

単位:百万円

フォーバルテレコムビジネスグループ

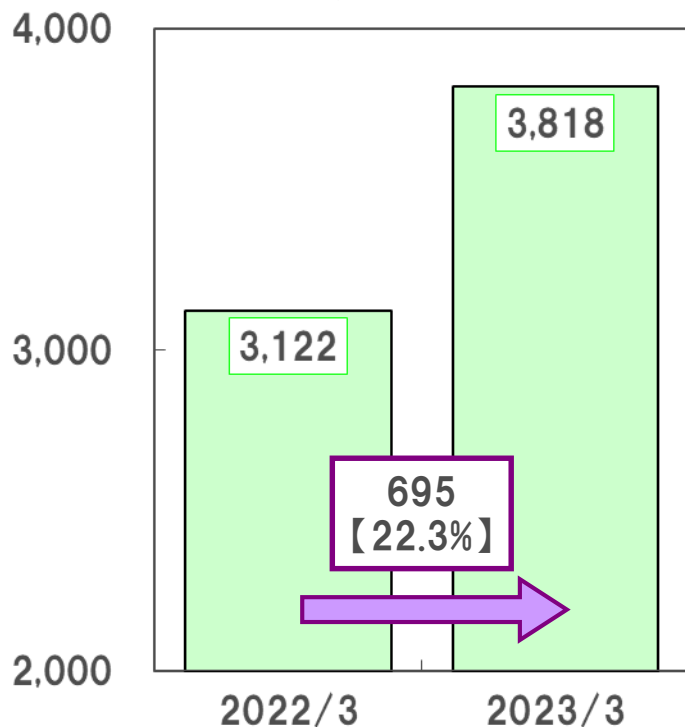


**新電力サービスが増加する一方で、
仕入価格の上昇を上期は料金に転嫁できず減益に**

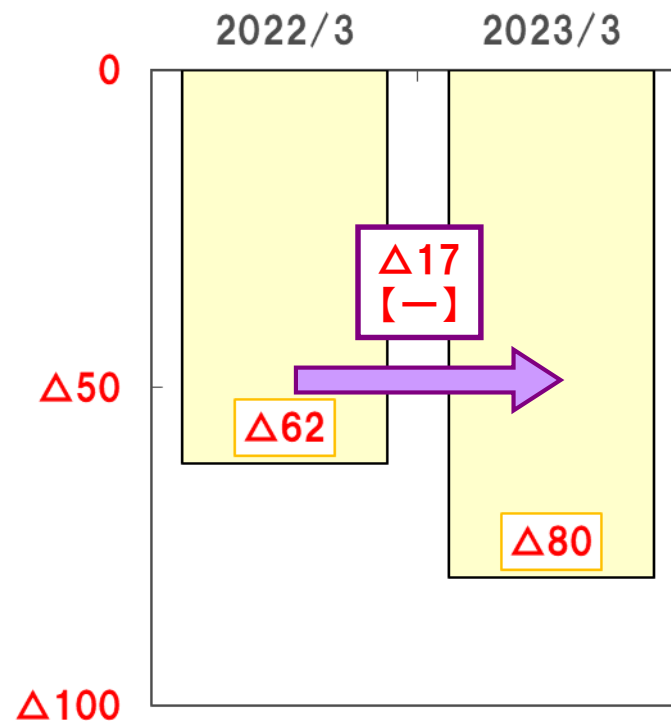
単位: 百万円

総合環境コンサルティングビジネスグループ

売上高



セグメント利益



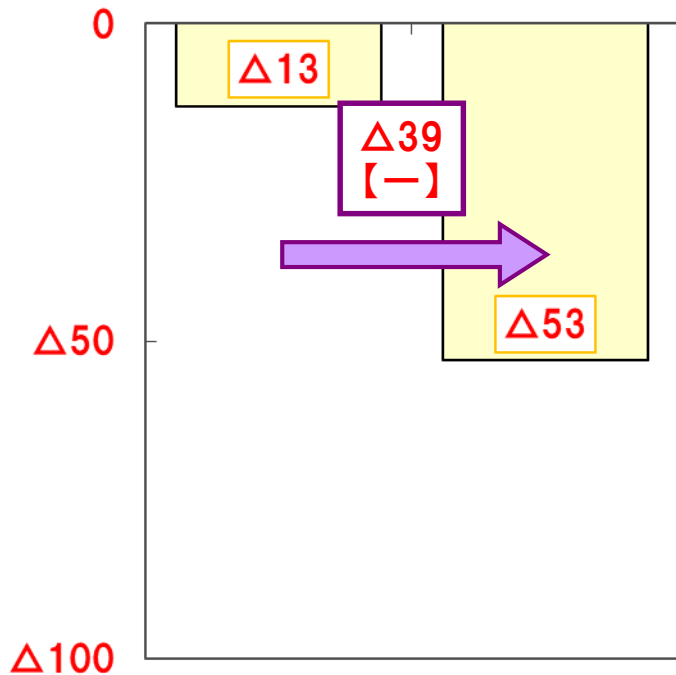
**住宅用太陽光発電システム等が増加
ライティング事業の原価増の影響を受ける**

単位:百万円

総合環境コンサルティングビジネスグループ

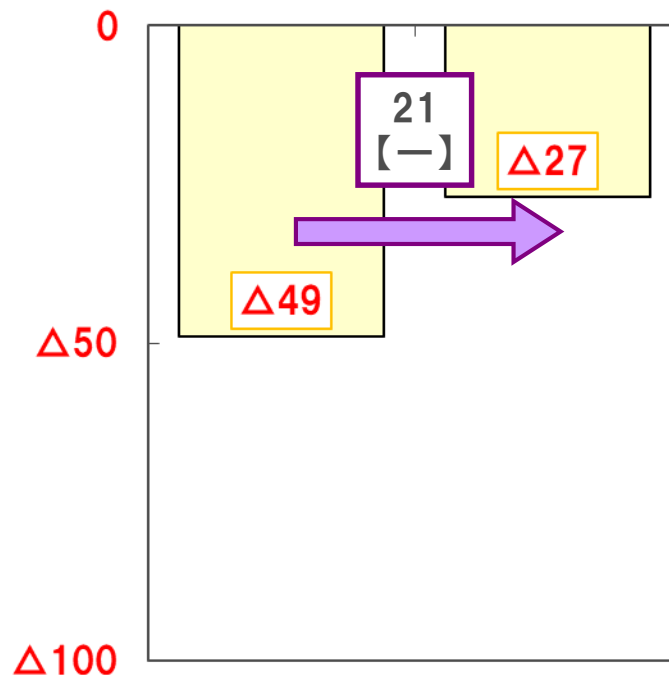
セグメント利益

前上期 当上期



セグメント利益

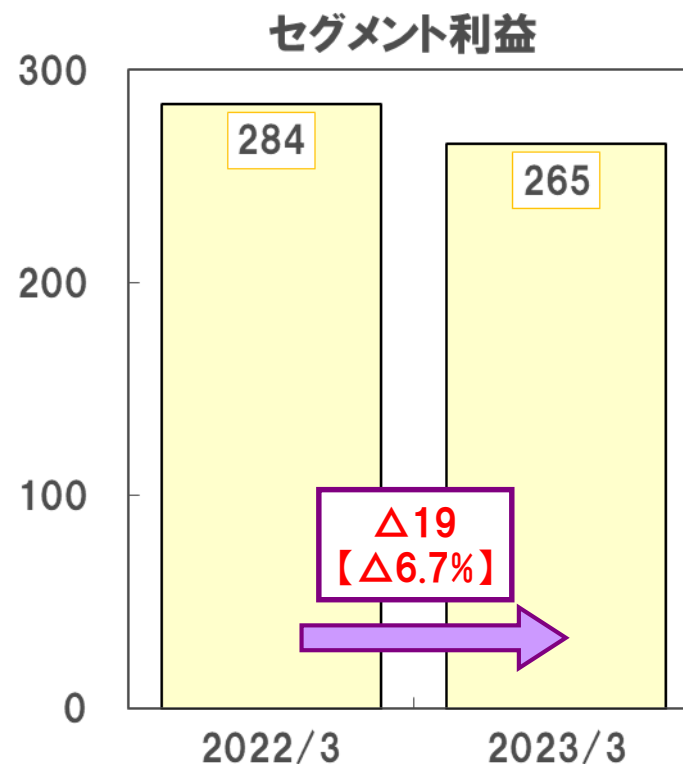
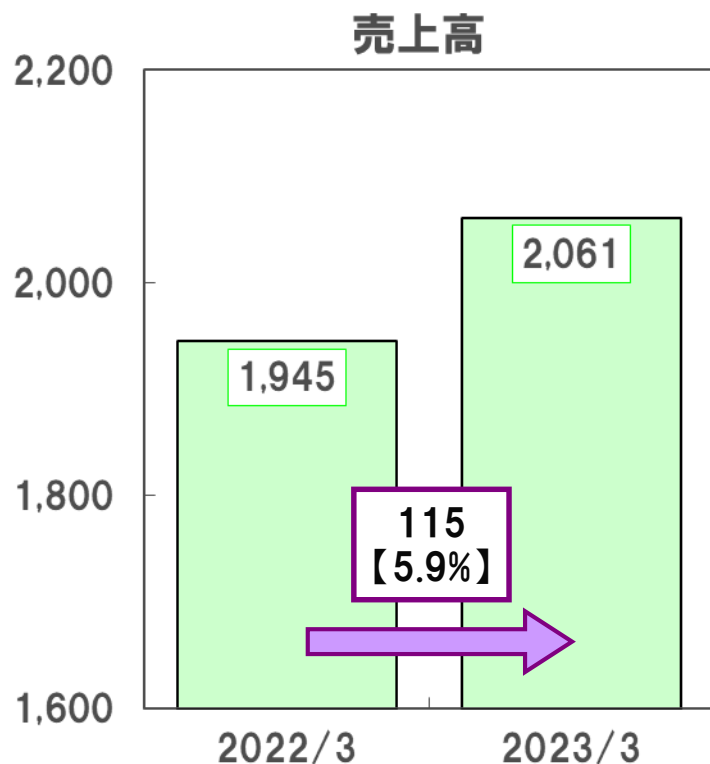
前下期 当下期



下期に収益性の改善を図る

単位:百万円

その他事業グループ（人材・教育コンサルティング）

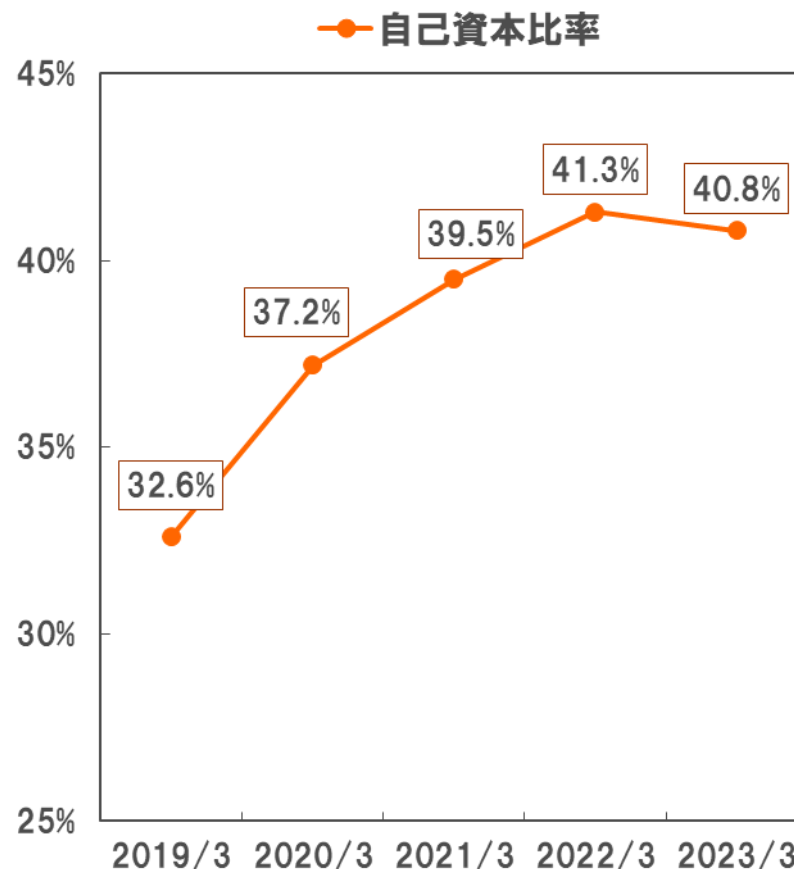
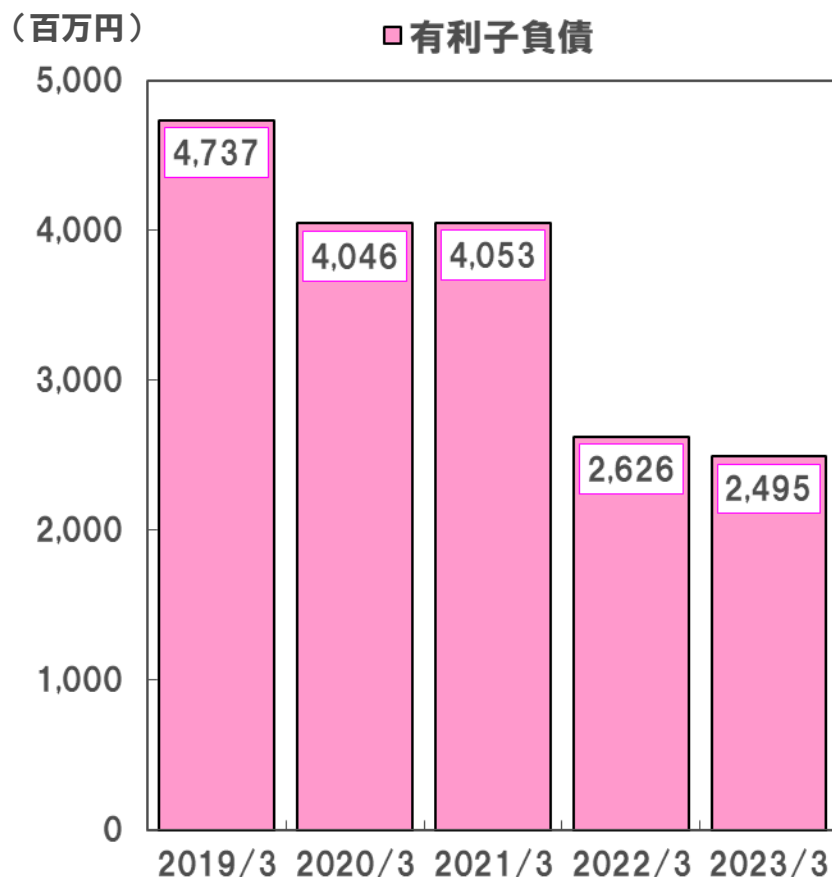


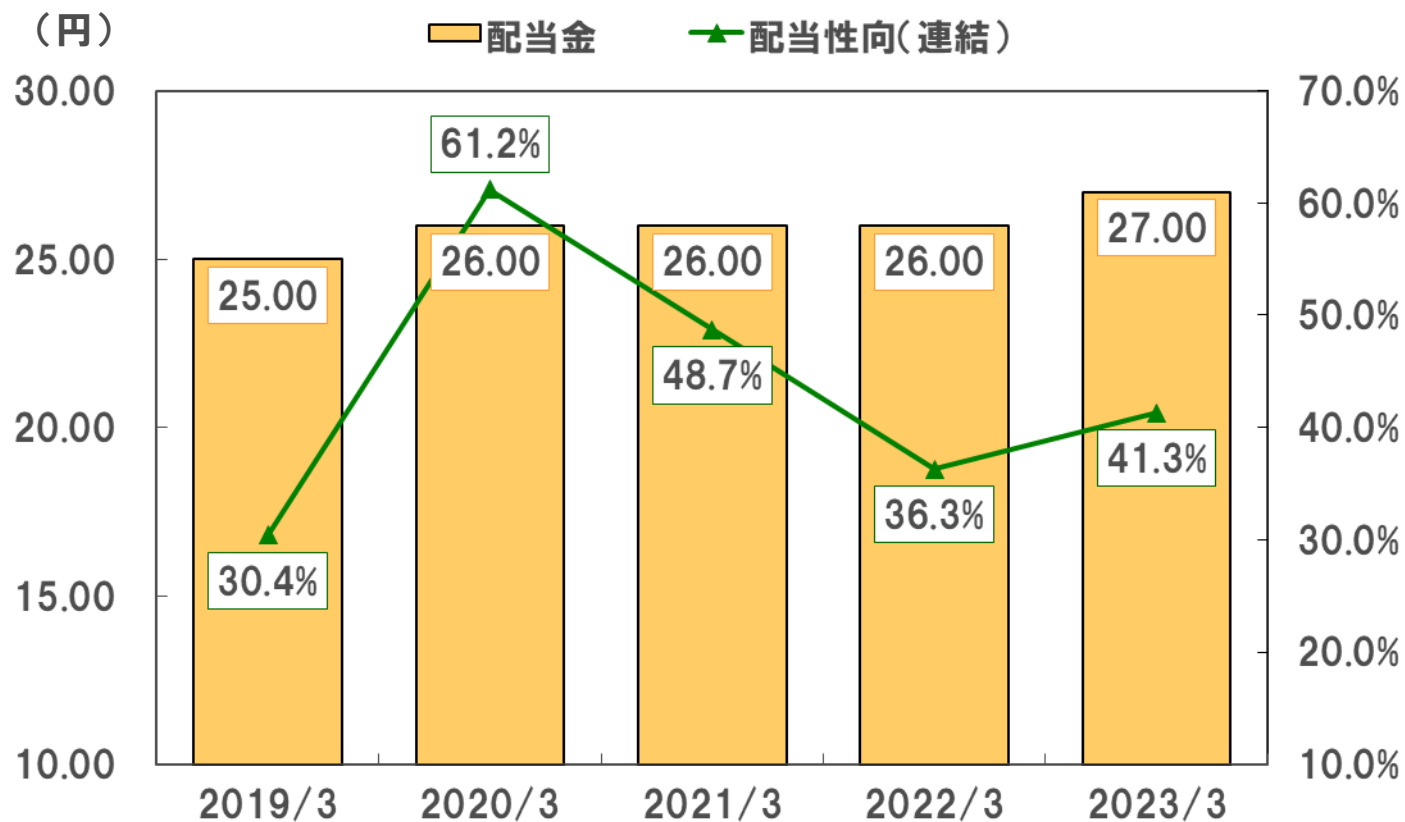
**会計システム関連等が増加
前期は利益率の高い大型の開発受託案件があり減益に**

単位:百万円

前期比5.0%減

前期比0.5ポイント低下





2024年3月期 連結業績見通し

| | 2024/3期予想 | | | 2023/3期 | |
|-----------------|-----------|--------|-----------------|---------|--------|
| | 予想 | 売上比 | 前期比 | 実績 | 売上比 |
| 売上高 | 62,000 | 100.0% | 2,461 【4.1%】 | 59,538 | 100.0% |
| 営業利益 | 3,000 | 4.8% | 556 【22.8%】 | 2,443 | 4.1% |
| 経常利益 | 3,000 | 4.8% | 282 【10.4%】 | 2,717 | 4.6% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,900 | 3.1% | 220 【13.1%】 | 1,679 | 2.8% |
| 1株当たり 当期純利益 | 73.90 | | | 65.41 | |
| 配当金 | 28.00 | | | 27.00 | |

単位：百万円

単位：円

フォーバルグループの成長戦略

未来を切り拓く「新しい資本主義」
—成長と分配の好循環—

成長戦略

- (1) 科学技術・イノベーション
- (2) 「デジタル田園都市国家構想」などによる地方活性化
- (3) カーボンニュートラルの実現
- (4) 経済安全保障

分配戦略

- (1) 所得の向上につながる「賃上げ」
- (2) 「人への投資」の抜本強化
- (3) 家計の資産形成支援

全ての人が生きがいを感じられる社会の実現

- (1) 男女共同参画・女性の活躍
- (2) 孤独・孤立対策
- (3) こども・子育て政策
- (4) 就職氷河期世代支援
- (5) 消費者保護

中小企業の視点から見たポイント

- ・グリーン
- ・デジタル
- ・地方活性化
- ・少子化対策

取り組む必要性の認識不足
情報不足
人材不足
資金力不足
時間不足

可視化経営をするための
伴走型支援が不可欠

**中小企業のGDX化の
伴走型アドバイザーとして確固たる地位の確立**

※「GDX(グリーンデジタルトランスフォーメーション)は、
「GX(グリーントランスフォーメーション)」と
「DX(デジタルトランスフォーメーション)」を
合わせたフォーバル独自の造語

GD_Xアドバイザーの創造

産官学の協力により全国にGD_Xアドバイザーを創造



岸田内閣の主要政策を実現するための
GD_X産業の振興

新たな貸出ビジネスの創造**GDXアドバイザー向けのツール貸出ビジネスを創造****新たな収益の柱**

「きづなPARK」の質的・量的拡充

各種ツールをGDXアドバイザーを通して提供
第三者のビッグデータプレーヤーとの情報連携



中小企業経営のための情報分析プラットフォーム
「きづなPARK」を質的・量的に拡充



中小企業スコアリング機能の基盤構築

中小企業のスコアリング開始

デジタル会計による財務スコアリング及び
ESGスコアリングなどの非財務スコアリングの順次拡充



スコアアップのコンサルティングで中小企業の利益に貢献



中小企業への可視化経営による
伴走型支援の第一人者としての地位を確立

愛媛県の「令和4年度ものづくり企業新展開支援事業」を受託

アデコ株式会社と、福岡市の「オンライン活用型事業再構築サポート事業」で協働

佐賀県の令和4年度「DXアクセラレータ事業(非製造業部門)」業務を受託

佐賀県唐津市の「唐津市DXイノベーションセンター」運営業務を受託

札幌市の令和4年度『「中小企業DXハンズオン相談支援」実施業務』事業を受託

岩手県盛岡市の「盛岡市中小企業デジタル化促進モデル事業」実施業務を受託

連結子会社である株式会社三好商会が江別商工会議所と業務委託契約を締結

千葉県香取郡多古町の「多古町DX推進支援」業務を受託

九州エリアのGDX化の推進を目的として、GZ キャピタル株式会社と業務提携

群馬県沼田市と包括連携協定を締結

学校法人電子学園と包括連携協定を締結

札幌大谷大学社会学部地域社会学科と産学包括連携協定を締結

皇學館大学現代日本社会学部と産学包括連携協定を締結

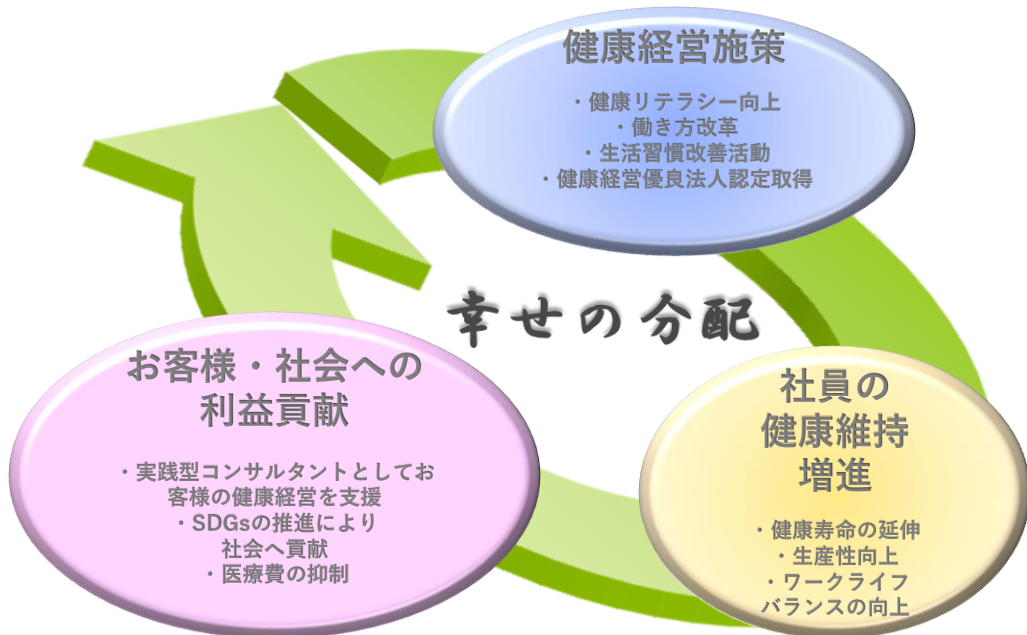
| 開始年度 | 自治体 | 役職 | 制度等 |
|--------|----------|---------------|-------------|
| 2022年度 | 鹿児島県さつま町 | ICT推進アドバイザー | 地方創生人材支援制度 |
| 2022年度 | 長崎県西海市 | CIO補佐官 | 地方創生人材支援制度 |
| 2023年度 | 富山県滑川市 | DX推進課長 | 地方創生人材支援制度 |
| 2023年度 | 千葉県鋸南町 | 地域活性化起業人 | 地方創生人材支援制度 |
| 2023年度 | 長野県白馬村 | デジタル統括監 | 地方創生人材支援制度 |
| 2023年度 | 滋賀県愛荘町 | 行革・DX推進室 室長代理 | 地方創生人材支援制度 |
| 2023年度 | 奈良県王寺町 | ITコーディネーター | 地方創生人材支援制度 |
| 2023年度 | 静岡県袋井市 | 企画部デジタル推進課専門官 | 地方創生人材支援制度 |
| 2023年度 | 岩手県花巻市 | ICT専門官 | 地方創生人材支援制度 |
| 2023年度 | 長野県飯山市 | マネージャー | 地方創生人材支援制度 |
| 2023年度 | 山口県 | グループリーダー | デジタル専門家派遣業務 |

私たちフォーバルは、社員、家族、お客様、株主、取引先、地域社会など、私たちに関係するすべての人たちに「幸せの分配」をしていきたいという思いが、「グループ経営理念」に込められています。

フォーバルの「グループ経営理念」や「経営基本方針」は、SDGsの理念と一致しているものと考えています。私たちのコアビジネスである「情報通信」「海外」「環境」「人材・教育」「起業・事業承継」の5分野に特化したコンサルティングサービスを通じて、「次世代経営コンサルタント」集団として、SDGsを積極的に推進し、社会の持続的発展への貢献を目指していきます。

SDGsの推進のひとつとして、働き方改革に取り組み、健康経営を促進しています。フォーバルグループでは性別や国籍、年齢、経験が異なったさまざまな社員が在籍しています。「子育て世代」や「介護世代」を含めた「すべての社員」が安心し、幸せを実感できる職場にしたいと考え、柔軟な働き方の実現に取り組んでいます。また、社員が健康維持や増進に努めることで、生産性や創造性を向上させ、安心していきいきと働ける会社を目指しています。そして実践型コンサルタントとしてお客様の健康経営を支援していきます。

健康経営が社員を幸せにし、社員がお客様や社会を幸せにする。それが、当社が目指す「健康経営への挑戦」であり「目的」です。

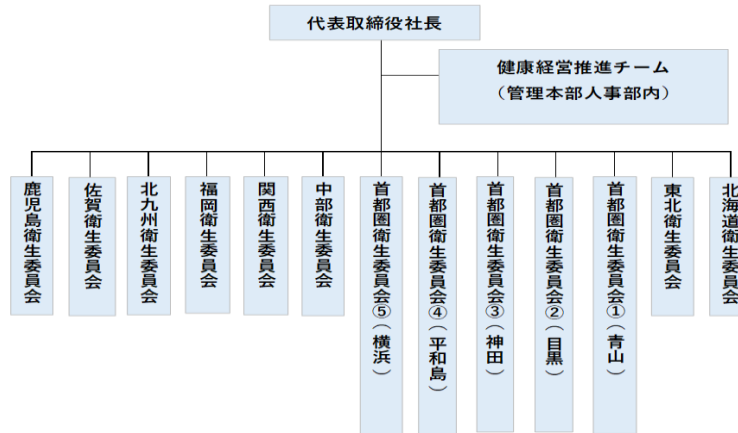


フォーバルグループ健康経営方針

フォーバルグループ経営理念・経営基本方針である社是に掲げている「社員・家族」への幸せの分配実現のため、社員の健康維持・増進に努め、生産性・創造性を向上させ、すべての社員と家族が幸せを実感でき、安心していきいきと働ける会社を目指します。

健康経営推進体制

経営トップ自らが健康経営推進最高責任者となって理念や関連施策の浸透を行っております。また、各種施策の実施は健康経営推進チームと連携し各ビル衛生委員会が推進し実施します。



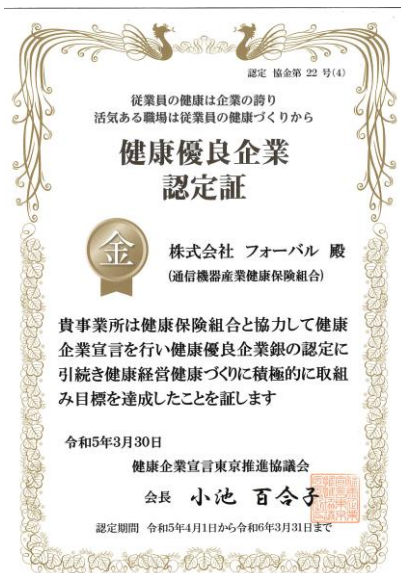
健康経営目標

フォーバルでは、社員の健康維持増進のため生活習慣改善目標を掲げています。当社では、これら3つの指標をより良くしていくことが、健康経営全体のKPIとして設定している「健康診断有所見率」の数値改善、また健康経営方針に掲げる「健康寿命の延伸」につながると考えております。

| 指標 | 2023年度目標 | 2022年度 | 2021年度 | 2020年度 |
|-------------------------------|----------|--------|--------|--------|
| 運動：1週間に2回、1日30分以上の運動を実施している | 55.1% | 47.1% | 49.2% | 44.3% |
| 睡眠：1日あたりの睡眠時間が、6時間以上の社員の比率の増加 | 67.7% | 59.6% | 62.7% | 61.9% |
| 喫煙：喫煙率の低減 | 25.3% | 27.5% | 30.2% | 31.3% |

令和4年度 健康経営に関する認定

<健康優良企業金の認定>



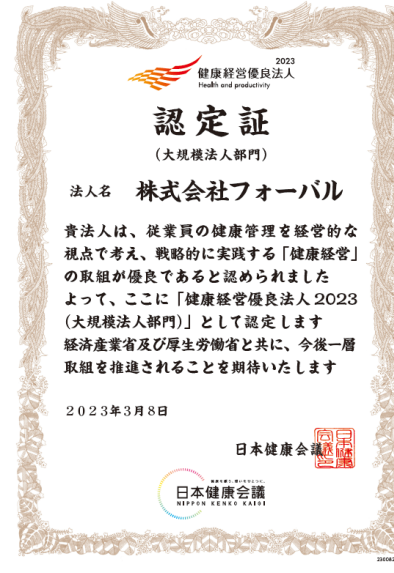
<東京都スポーツ推進企業認定>



<スポーツエールカンパニー認定>



<健康経営優良法人 認定>



将来の見通しに関する記述についてのご注意

本プレゼンテーション資料に掲載されている弊社の計画、目標、方針、戦略、判断、財務的予測、将来の数値・金額などのうち、歴史的事実でないものは弊社に関わる将来の見通しに関する記述であり、弊社の経営陣が現在入手可能な情報に基づく予測、想定、認識、評価、判断、前提(仮定)等を基礎としています。これらの実現については、様々な要素の潜在的リスクや不確実性を含んでいます。

なお、本プレゼンテーション資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われますようお願い申し上げます。